

集会アピール

今日からちょうど10年前の2011年3月11日に起きた東日本大震災は、死者・行方不明者18,000人余を出し、全半壊の建物は40万戸を超え、震災後の避難者は47万人にも及び、計り知れない自然の力と人間の無力さをまざまざと見せつけました。

福島では、この自然災害に加え、過去最大の原発事故が追い打ちをかけました。放射能汚染により、津波にのみ込まれた人たちの救出ができず、犠牲となった家族の人たちは「原発事故さえなければ、助けることができたかもしれない」という大きな心の傷を残しています。また、原発事故で将来を奪われ、死を選ばざるを得なかった人もいます。10年経った今も放射能汚染水の処理や廃炉は進まず、故郷に帰れない、避難解除後も生活再建の目処が立たないなど、多くの人たちが取り残され、壊された故郷、生活は簡単には取り戻すことはできません。

福島第一原発事故は「核と人類は共存できない」という事実を、あまりにも大きな代償によって、改めて私たちに教えました。これまでに多くの人たちが核の危険性を警告していたにもかかわらず、政府や電力会社は原発を増やし続け、それを止めることができなかった私たちを含めて、責任は甚大です。

今の私たちに求められているのは、二度と同じ過ちを繰り返さず、すべての原発の廃炉を決定し、可能な限り安全な状態にすることです。全世界的なコロナ禍の中で、平和・軍縮運動や脱原発運動の展開が厳しい状況に置かれていますが、この運動を止めることなく、核と戦争のない平和な社会の実現に向け努力を重ねていかなければなりません。

福島原発被害者の人たちの完全な補償と、すべての原発廃炉に向けた世論喚起に全力で取り組むことを確認し、集会アピールとします。

2021年3月11日

3.11から10年 — 福島原発事故は終わっていない！香川県民集会